

# 島九条の会通信

## 明けまして おめでとうございます

ひさしぶりに寒い新年を迎えた気がする年明けでしたが、今年は戦後 80 年です。世界にはガザ・シリアなど中東の紛争・ロシアによるウクライナ侵攻・南スーダン・ミャンマーなど（トランプ氏に至ってはグリーンランドをよこせと、帝国主義丸出しの主張をする始末です）戦火が絶えませんが、いろいろ議論はありながらも日本はこの 80 年、軍隊が戦争に参加しませんでした。いや、九条の会も含めてこの 80 年「戦争はいやだ、平和憲法を守れ」の声を挙げた人々や組織が、日本に戦争をさせませんでした。しかし、我が日本国政府は大軍拡にまっしぐらです。野党からも一部を除いて「軍拡反対」「軍事費を市民の暮らしへ」の声は大きくありません（「戦前」でさえ軍縮の事例があったのに）。

この「戦後」を 100 年 200 年と、ずっと続けられるよう小さな力かもしれませんが、私たち島中学校区九条の会も声をあげ続けましょう。2025 年が戦前になるのは真っ平です。

## 提案募集 今年も島九が「当番」です

何の話だかわからない見出しですが、今年は私たち島九が川北 5 九条の会合同の催しの当番です。そこで会員みなさんから、何をしたら良いのか提案を募ることにしました。過去には「テレビでは見られない芸人の松元ヒロさんをお呼びしたこともあります。残念ながら資金は潤沢ではありません。しかし、何かここに残る・これからの活動の力になるようなよい集いにしたいと世話人一同考えています。

会員みなさん、何かよい知恵をお貸しください！

## 第 69 回例会の報告 「戦前リアル」って何？

昨年 12 月 8 日、島公民館で見出しをテーマにした学習会を開きました。参加者は 11 名でした。言うまでもなく 83 年前のこの日、大日本帝国はアメリカイギリスなどと戦争を始めた日です。多くの日本人にはこの日は「戦中（戦時）」の始まりで、その前日 7 日は「戦前」の終わりです。しかしその「多くの日本人」は「戦前」の終わりを、知るはずもありません。前置きが長くなりましたが、以下学習会の報告です。

まず山口放送のドキュメンタリー番組「戦前リアル」を視聴。番組は山口県の岩国基地と沖縄の基地の映像を対比させて始まります。そして、2005 年神奈川県米海兵隊厚木基地の空母艦載機部隊が山口県の岩国基地に移転、同基地が極東最大級の米軍基地となったことが紹介される。岩国市では移転反対運動が起き当時の市長は反対を表明、住民投票でも反対が勝利、すると政府は市への補助金を削減、市の行政が支障をきたします。2 年後の市長選で「受け入れ派」市長が当選、政府は手厚い補助金でそれに「応え」、市の公共施設や市民サービスは充実、多くの市民が歓迎。岩国市民は、基地強化→戦争の危険というリアルを感じていない姿を映像は映します。2018 年艦載機部隊の移転は完了します。

続いて舞台は沖縄など南西諸島に。沖縄では県内全域にわたって辺野古新基地建設・米軍主導での自衛隊・米軍の一体化そして共同訓練など、「基地負担の軽減」とは真逆の事態が進行中です。沖縄の人々にとって沖縄戦の体験・記憶は強烈で、基地強化に戦争の恐怖を感じる声を紹介します。その後全国各地での日米軍事一体化の映像を流して番組は終わります。

日本周辺では実際の戦争は「まだ」起きてはいませんが番組を見ていると、岩国や沖縄（日本全体も）の「今」は、どこか 1941 年 12 月 7 日までの日本と重なるように思えました。

### 会場で出た主な意見です

- ・軍の本務は住民を守ることではない。普天間の危険は米軍に日本の航空法を適用すればよい。独・伊は地位協定を改定。自国の法を米軍に適用している。自衛隊がやろうとしているミサイル迎撃は不可能だ。
- ・NHK スペシャルで与那国の問題を放送していた。町長は「島の繁栄」のために基地受け入れるが反対論も多い。岩国の現状には驚いた。近所の人と話（戦争の危機などの）をしても通じない。
- ・岩国も沖縄も住んだことがあるが、番組を見て驚いた。日本も周辺の現状を考えると心配になる。
- ・岩国を見ると、地域振興の名で人の心が変わる、心配だ。若い母親が「基地のおかげ」と言うのに絶句。この頃のテレビも心配。8時台の番組で若い世代に人気のカズレーサーを自衛隊基地で、戦闘機に乗せて取りこんでいく。各務原の航空祭のニュースで子どもが喜ぶ姿が映される、同世代の人が得意がって航空祭の様子をスマホで撮っている、どれも心配だ。
- ・「戦前リアル」のタイトルは今の日本をリアルに示している。交付金（政府のアメとムチ）は恐ろしい。米軍との関係で自衛隊の基地の再編も進む、北海道の遠軽では基地がなくなると若者が地域からいなくなるという、米国追従の日本政府のありようは情けない。軍拡の費用を暮らしにまわせば良い。
- ・戦争は尊い命が奪われる、絶対反対。
- ・翁長知事の選挙応援に沖縄に行ったが、歴史があるから沖縄はそう簡単には変わらない。
- ・基地も原発も同じだ、貧しい地域に札束を持って行って押し付ける。ウクライナもガザも軍需産業はもうけている。多くの人は関心がない。
- ・基地がないと生活ができない人もいるが、九条の会の地道な活動はとても大切だ。
- ・アメはいつまでももらえない、もらえなくなると強制（イジメ）だ。沖縄の座間味村で講演を頼まれた、講演後「集団自決」の現場に案内された、戦争は住民を守らない、軍は危険になると逃げていく。協力しないといじめられる。歴史を知ればわかる。米国は戦争を欲している、背後には軍需産業、戦争を作る。
- ・子どもたちに戦争の話が頼まれているが何を伝えたらよいか？←銃後の暮らしの悲惨さを伝えるもよい。
- ・80年前東南海地震があり甚大な被害が出たが戦争中だから報道されず、なかったことに。それが戦争だ。

### 次に寄せられた感想文から（意見交換と重複する分は省かせていただきます）

- ・情報がかくされ、意図的に都合のいい方に導かれていると思う最近ですが、今日みた映像を伝えなくては……と思いました（まずは「実家の弟夫婦に！友人に！」）
- ・岩国基地の現状を知れてよかった。長良九条の会の方に感謝。学ぶことは希望につながる。
- ・初めて出席させてもらいました。いいビデオを見させていただきました。いい活動をされてますね。今後の活動期待しております。
- ・歴史から学ぶことは何より重要。学ばない者は盲目になり暴走する。もう少し柔らかい雰囲気が必要だ。優しい言葉で、笑って話す、楽しい集いにしないと魅力がない。（文責 井川敏郎）



### 沖縄、戦前は日 VS 米の間で、今は「日米」VS 中の間で

右の地図は、琉球新報が昨年 12/1 付朝刊に掲載した地図です。この地図をよくご覧ください。大日本帝国が対米戦争で想定したのは「決戦線」が南西諸島、その「前哨戦」は小笠原諸島としていました。つまり日米対中国を巡って今盛んに言われている「第 1 列島線」と「第 2 列島線」と全く同じではありませんがよく符合しています。

私たちの日本国は、ドキュメンタリー「戦前リアル」が描いたように、今も昔も沖縄を犠牲にしようとしていると改めて思います。「有事」には先島諸島から住民を避難させると言いますが、12 万人がどうやったら安全に避難できるのでしょうか。さらに米軍基地が集中する沖縄本島も安全ではあり得ません。

よろしければお出かけください（詳しくは同封のチラシをご覧ください）

1月19日の行動（戦争法・軍拡反対、平和を求める行動です、毎度急な話ですみません）

- ・1.19 岐阜総がかり行動 集会とデモ（場所 清水緑地公園（JR 岐阜駅南）10:30～12:00 ごろ
- ・島・則武・早田有志スタンディング（場所忠節橋北坂下交差点）7:45～8:15

2月9日 「ノーベル平和賞受賞木戸季一さんを囲む会」 PM2:00～ 場所 西部コミセン